



独立行政法人 和歌山病院
国立病院機構



〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138
Tel 0738-22-3256 Fax 0738-23-3104
ホームページ <http://www.wakayama-hosp.jp/>

和歌山病院 ニュース

第40号

2014年4月発行

【当院の理念】

職員一同は、患者さまの権利と立場を尊重し、地域と密着した「安心と信頼をいただける病院」をめざします。

【患者の権利と義務】

◇患者の権利

- 1.良質で公平な医療を受けられる権利があります。
- 2.人格や価値観を尊重される権利があります。
- 3.診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
- 4.治療法を選択できる権利があります。
- 5.病気の診断・治療・予後などに関して、他の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞くことができる権利があります。
- 6.個人情報を守られる権利があります。
- 7.貴方の診療記録の開示を求める権利があります。

◇患者の義務

- 1.ご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にお伝えください。
- 2.検査・治療は説明をうけ、十分な理解と納得の上で受けてください。
- 3.他の患者の治療や医療提供に支障を与えないように配慮してください。
- 4.医療費の支払い請求を受けたときは、遅滞なくお支払いください。

※和歌山病院は、「患者の権利宣言」（リスボン宣言）を尊重します。



目次

2. 「院長就任のごあいさつ」
院長 南方良章
3. 「摂食・嚥下チーム医療における
言語聴覚士の役割」
言語聴覚士 兎金雅子
「開放型病院15周年記念講演会を開催して」
開放型病院事務局
4. 「外来診療担当表」・「職員募集案内」

院長就任のごあいさつ

このたび、平成26年4月1日付けで院長に任命されました南方です。和歌山病院は、楠山良雄前院長ならびに歴代の院長先生方のもと、療養所から出発し、現在では紀中・紀南の呼吸器疾患、循環器疾患の重要な専門病院として発展してまいりました。このような歴史ある病院をさらに発展させるため、微力ながら全力で業務を務めさせていただき所存です。本院の特徴と今後の展望を以下に述べさせていただきます。

本院の最大の特徴は、呼吸器内科・呼吸器外科診療体制が充実しており、県内でもトップクラスの診療が可能である点であります。県内各医療施設において医師不足のため呼吸器診療に難をきたしている現況の中、当院の呼吸器診療ならびに教育における役割が一段と大きくなってきております。今後、若い医師・看護師等の臨床教育の基幹病院としての自負をもち、自己研鑽ならびに環境整備に努めてまいりたいと考えています。

2点めの特徴は、和歌山県立医科大学付属病院とともに、県内で2施設のみの神経難病医療ネットワークの拠点施設である点であります。常勤の神経内科専門医を配置し、しかも呼吸器内科医師のバックアップ体制も充実しており、人工呼吸器装着も含めた神経難病患者管理が可能であります。収容可能患者数を広げるための人員ならびに環境整備に積極的に取り組み、また他の医療機関とのネットワーク充実をすすめてまいりたいと考えています。

3点めの特徴は、稼働中の結核病床を有する県内唯一の病院であるという点であります。和歌山県は人当たりの結核新規発症数が全国で極めて高く、ここ数年全国2位から8位の位置にあります。県の結核診療の中心的病院として、結核治療のみでは



院長 南方良章

なく、結核発症抑制に向け、行政との連携に加え、県内医療機関ならびに県民に対する啓発活動等に対しても、これまでもまして積極的に取り組んでまいりたいと考えています。

4点めの特徴は、重症心身障害者病棟をもち、多くの方々を受け入れている点であります。ご家族が宿泊できる施設も完備し、患者・家族との触れ合いの時間をより確保しやすい体制をとっています。さらに、津波対策として、推定される津波が押し寄せたとしても患者の安全を確保できる設計に基づいた新棟を、H26年6月着工、H27年7月竣工予定で建築開始いたします。より安心できる療養体制の構築に努めてまいります。

最後に、前述の如く、病棟建替えにより安全で快適な医療空間を提供できると自負しております。地域医療、県民医療の中心病院として、また、若い医師・看護師の教育病院として、多くの医師が集まる病院、地域の方々から選ばれる病院を指して積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

摂食・嚥下チーム医療における言語聴覚士の役割

リハビリテーション科 言語聴覚士 兜金雅子

当院の摂食・嚥下チームは、脳卒中・呼吸器疾患・加齢等の原因で食事を摂ることが難しくなった患者様に対して、口から食べる機能の回復や楽しみの継続、肺炎の防止を目的として、平成24年11月から本格的に活動を開始しています。構成メンバーは、医師、看護師長、副看護師長、病棟看護師、摂食・嚥下障害認定看護師、管理栄養士、薬剤師、言語聴覚士（以下、ST）です。

チームにおけるSTの主な活動内容は、次の3つです。

- ①摂食・嚥下回診
- ②嚥下評価、嚥下訓練、アドバイス
- ③摂食・嚥下に関する勉強会の実施

回診は月に2回（毎月第1・第3火曜日 14:30～）、病棟で行います。まずは患者様の疾患や既往歴、現在の身体状況（栄養状態、発熱、肺炎の徴候等）について病棟看護師やカルテから情報を収集します。その情報をもとに多職種で意見交換しながら患者様の食事形態、摂取方法、嚥下リハビリの内容について検討します。チームメンバー以外の病棟看

護師にも可能な限り同席してもらい、環境調整や食事摂取方法の知識・技術を共有できるよう努めています。

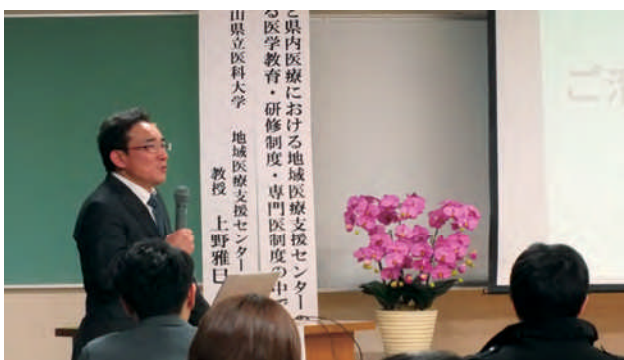
また回診以外でも、「食事中によくムせる」「食物が飲み込めなくなってきた」等、患者様の食事に関して看護師が困ったときには、その都度相談に応じてアドバイスをしています。

これからも摂食・嚥下チームでの活動を通して、患者様の「口から食べる」ことへの可能性を広げ、QOL（Quality of Life生活の質）向上に繋がれたらと考えています。



開放型病院15周年記念講演会を開催して

開放型病院事務局



地域医療連携の一環として当院が紹介医と共同で診療に当たる「開放型病院」に取り組み始めて15年が経過しました。去る2月8日（土）に開催した記念すべき15周年の講演会には、和歌山県立医科大学 地域医療センター 教授 上野雅巳先生をお迎えし、「卒前・卒後教育と県内医療における地域医療支援センターの役割 —変わる医学教育・研修制度・専門医制度の中で—

と題したご講演を賜りました。

当日は当院の開放型病院にご登録いただいている診療所の先生方をはじめ院外より21名と当院職員37名の総数58名と多数のご参加をいただきました。当院では今後とも地域の医療機関や施設との連携を深め地域に根ざした「安心と信頼をいただける病院」を目指し努力して参ります。





		月	火	水	木	金	
外科	2診	担当医	畑田	宮坂 (乳腺外来)	畑田	有本	
循環器内科	初診	尾鼻	担当医 (和医大)	今西	豊田	—	
	再診	3診	楠山	—	楠山	—	
		5診	豊田	尾鼻	—	尾鼻	豊田
		4・6診	大原(せ)	—	大原(せ)	—	—
神経内科	6診	綾木	—	河本 (第2・4週)	—	河本	
呼吸器センター	初診	14診	柳本	南方	市川	小野	担当医
	初診	15診	—	田中	—	—	—
	再診	16診	駿田	小野	柳本	赤松	—
	専門外来(午後)	—	—	—	睡眠外来 駿田(再診)	禁煙外来 乾(第1・3週) 赤松(第2・4・5週)	睡眠外来 駿田(初診)
		—	—	—	COPD外来 担当医	—	—

※受付時間 8:30~11:30 診療時間 8:30~17:00

※再診については原則、予約制にしております。(急患についてはこの限りではありません)

看護師募集中！(①常勤・②非常勤)

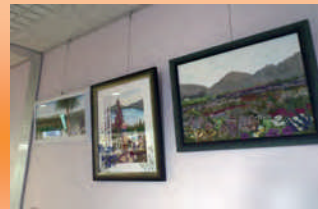
- 募集人数 : ① ②ともに若干名
- 必要資格 : ① ②ともに看護師免許
- 勤務時間 : ① 1 ■ 7時間45分の交替制勤務(夜勤有)
② 応相談(1週最大32時間まで)
- 休 ■ : ①4週8休制度 ②勤務内容により応相談
- 勤務内容 : ①病棟看護業務
②夜勤専従、病棟・外来 ■ 勤等応相談
- 給 与 : ①基本給:188,900円~
(短大3卒の場合) ※各種手当有
②時給:1,410円 ※交通費別途支給



院内宿舎・保育所あります！

ボランティア募集！

例えば・・・外来案内、創作(フラワーアレンジメント・押し花等)、図書(読み聞かせ・貸出等)



押し花



フラワーアレンジメント

お問い合わせは TEL:0738-22-3256 管理課 給与係長まで

独立行政法人■立病院機構和歌山病院

〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138

院長/南方 良章 診療部長(内科系)/豊田 康誠
副院長/駿田 直俊 診療部長(外科系)/有本 潤司
呼吸器センター長/柳本 立太

<お問い合わせ>

TEL 0738-22-3256 (代表)

※夜間・休日は 0738-23-1506

FAX 0738-22-2008 (地域医療連携室)

<http://www.wakayama-hosp.jp/>